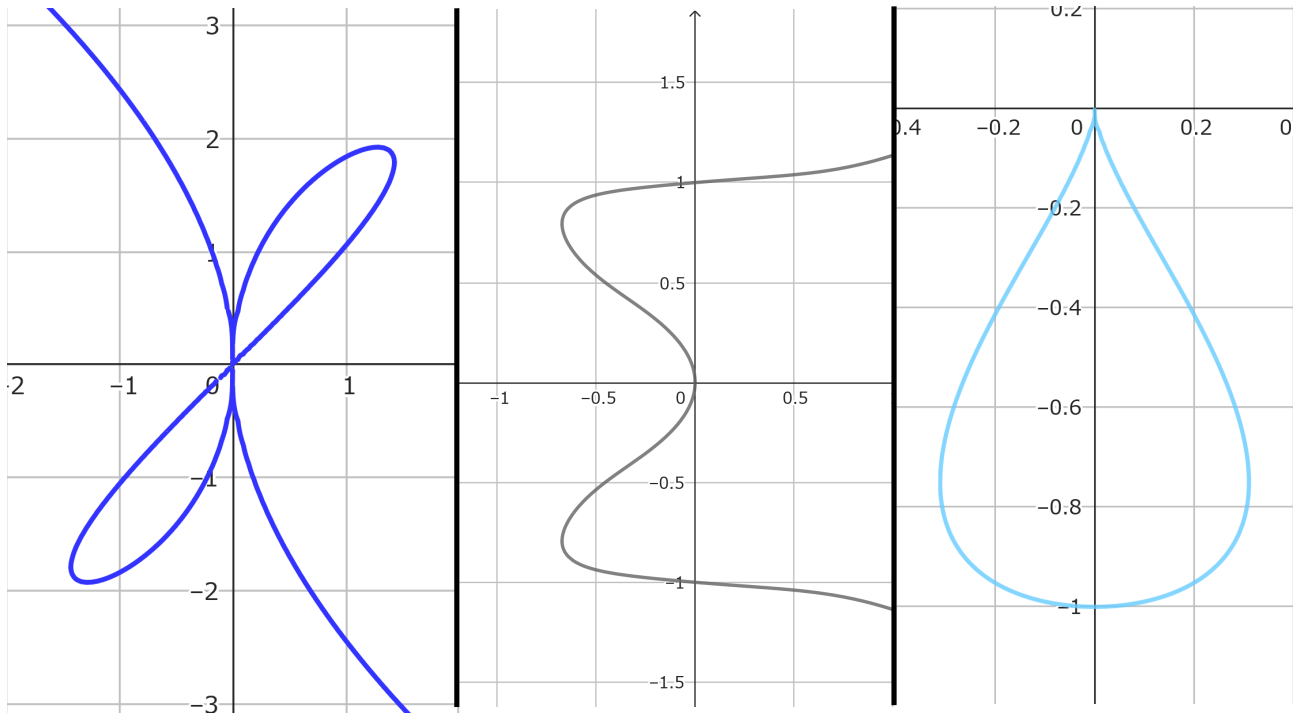


第144回 理学部コロキウム

代数多様体の分類理論と極小モデル理論

理学部 数学プログラム 橋詰健太



日時：12月25日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：オンラインZoom（教職員・学生の皆さんにはミーティングIDとパスコードを別途お知らせします）

代数幾何学では、主に代数多様体と呼ばれる図形を扱う。代数多様体の分類が大きな目的の一つであるが、あらゆる代数多様体を詳細に分類することは現実的ではない。そこで、双有理同値と呼ばれる概念を用いて、代数多様体の大まかな分類理論を構築するのが双有理幾何学と呼ばれる分野である。双有理幾何学における研究において重要なツールが「極小モデル理論」という理論である。現在、極小モデル理論および双有理幾何学は未完成であるが、大きく発展している最中である。この講演では、代数多様体の分類理論および極小モデル理論の考え方を紹介し、代数多様体の枠組みに留まらない極小モデル理論の最近の発展を紹介する。

問い合わせ先：長束俊治 (natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)